

特定外来生物アレチウリ駆除ボランティア募集！

美しい景観を有する河口湖湖畔には多種多様な生物が生育し、私たちの生活を支えています。しかし、特定外来生物(環境省)に指定されているアレチウリの生育が確認され、この生態系が損なわれる恐れがでてきました。そこで、アレチウリの危険性と生態、駆除方法を解説し、駆除へ向けた取り組みを開始します。

アレチウリの危険性

アレチウリは北米原産の一年生のつる性植物です。春に発芽し、夏には旺盛な成長によりつるを伸ばしながら他種を覆うように繁茂します。秋には大型の種子を大量に生産し枯れます。一年で枯れてしましますが、生産された種子の多くは、翌年以降、発芽して同様に繁茂するため、放置すれば一面を覆い尽くすように広がります。また、放牧地や農地にも侵入し、甚大な被害を生じることもあります。そのため、少ない段階から駆除を実施し、蔓延を防止しましょう。



湖畔のヨシをアレチウリが覆う様子(2012)。点線で覆われた部分は、ヨシ上層にアレチウリが繁茂している部分。

アレチウリの特徴と見分け方

発芽～数週間後(5月～)



5月以降、種子から発芽します。キュウリの葉に似た、手のような葉です。

成長(7月～)



“つる”を伸ばして、旺盛な成長をします。クズとは葉の形が異なります。

開花と結実(8月～)



8月下旬ごろから花をつけ、その後、種子を生産します。アレチウリの花にスズメバチが訪花することもあるので、駆除する際は十分注意してください。

アレチウリの駆除方法と時期

〈方法〉 抜き取り

他の植物への影響を低く抑えるため、手で根ごと抜き取ります。抜き取ったアレチウリはゴミ袋などに入れ、他の場所へ飛散しないようにします。ゴミ袋は放置せず、管理者の指示に従い、焼却処分します。

〈時期〉 同じ場所で年3回以上(5月から8月の間)の抜き取りを数年継続

アレチウリの種子は春から晩夏にかけて発芽し、土壌中にも大量の種子があるため、毎年複数回の駆除が必要です。

〈実施〉 事前に管理者へ連絡 (富士河口湖町役場 環境課 Tel: 0555-72-3169)

アレチウリは“特定外来生物”なので、扱いには規制があります。抜き取ったアレチウリはきちんと処分し、移動させない、栽培しないなど。駆除を実施する際は管理者へ事前に連絡をお願いいたします。

“一万人の清掃活動”をはじめに、年3回のアレチウリ駆除を計画しています。

多くのご参加をお待ちしております！

問い合わせ先: 富士河口湖町役場 環境課 0555-72-3169

河口湖アレチウリ一掃作戦実行委員会